



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月6日

上場取引所 東 札

上場会社名 イオン北海道株式会社

コード番号 7512 URL <http://www.aeon-hokkaido.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村 忠規

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 天廣 俊彦

TEL 011-865-9405

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	74,726	—	1,665	—	1,324	—	768	—
22年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	7.40	7.39
22年2月期第2四半期	—	—

(注)22年2月期第2四半期につきましては、連結財務諸表を作成し、財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	90,353	16,273	18.0	156.56
22年2月期	92,462	15,491	16.7	149.16

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 16,253百万円 22年2月期 15,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	△0.2	2,700	6.1	2,050	1.3	1,000	4.9	9.63

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 33,189,016株 22年2月期 33,189,016株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 2,873,900株 22年2月期 2,886,600株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 30,308,697株 22年2月期2Q 30,300,140株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信、【添付資料】3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 前年同四半期に係る財務諸表等	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2010年10月7日（木）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間における北海道経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、まだまだ先行きに対する不透明感や雇用不安等から厳しい状況は続いております。

このような経営環境の下、当社は統合3年目を迎え引き続き競争に勝ち抜くために構造改革に取り組み、2010年度の重点施策である「営業力の強化」「収益構造の改革」及び「成長戦略の推進」等を柱として取り組んでまいりました。

「営業力の強化」では、直営、専門店が合同で、全国のイオンが6月に一斉に行った「みんなに値下げの5日間」（割引セール）や、直近では創業3年目を迎えた当社の記念セール「誕生祭」を開催しそれぞれ多くのお客さまにご来店、ご利用頂くことができました。このような期間限定での取り組みとともに、日々のお買物においてもご満足頂けるよう品揃え、価格の見直し等も継続的に実施致しました。また、昨年から取り組んでいる売場改革も積極的に進め、成長分野であるペットや手芸・ホビー関連の売場の拡大・導入を図るとともに、婦人服やホームファッション売場についてもお客さまがより選びやすく、買い物がしやすい売場への改装を積極的に行い、33件の活性化を実施いたしました。また、固定客作りの柱であるWAONカードホルダーの獲得強化も継続実施致しました。テレビCMなどの取り組みの効果もあり、65歳以上のお客さま限定「ゆうゆうWAONカード」の獲得とあわせて、WAONカードご利用のお客さまは確実に増加しております。

「収益構造の改革」では、ローコストオペレーションを確立すべく、人件費や設備費などの削減に取り組みました。特に人件費においては、バックルームの環境整備や売場陳列什器の改善による商品補充作業の負担軽減、レジ集約化によるレジ業務への投入人時の削減を図るなど作業効率の改善に積極的に取り組みました。さらに、お客さまの「不満」の解消にもつながる欠品防止対策や、環境問題にもつながる食品における廃棄処分商品の削減、また特にこの第2四半期より在庫削減改革にも着手し、売上高総利益率改善にも成果を上げております。

「成長戦略の推進」では「ネットスーパー事業」として3月よりスタートいたしました旭川西店を含め8店舗で展開しております。季節商品などの品揃えを強化するとともに商品検索画面の改善を図り、より広くお客さまにご利用頂けるようになってきております。また8月より通年でインターネットでお買い物ができる「eショップ」もスタートいたしました。今後はより多くの北海道の美味しい商品を全国に発信すべく訴求強化してまいります。

最後に、都市型ニーズに合わせた新しいモデル店舗の取り組みとして「西岡店」を5月に新規出店いたしました。初年度からの黒字を可能にするローコスト体制の確立を目指しており、ほぼ計画どおりに推移しております。成長戦略のモデル店舗として、今後小商圏でのお客さまを中心にご利用頂ける店になるべく運営してまいります。

これらの施策に取り組んだ結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高747億26百万円（前年同四半期は756億39百万円）、営業利益16億65百万円（前年同四半期は55百万円）、経常利益13億24百万円（前年同四半期は62百万円の経常損失）、四半期純利益は7億68百万円（前年同四半期は96百万円の四半期純損失）となりました。

※前年同四半期は連結財務諸表を作成しており個別の数値は開示していなかったため、前年同四半期の個別実績は参考として記載しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は903億53百万円となり、前事業年度末に比べ21億9百万円減少いたしました。

内訳としましては、固定資産が1億円増加しましたが、流動資産が22億9百万円減少したためであります。流動資産の減少は、在庫の削減により商品が18億86百万円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は740億80百万円となり、前事業年度末に比べ28億90百万円減少いたしました。

内訳としましては、固定負債が9億34百万円増加しましたが、流動負債が38億24百万円減少したためであります。流動負債の減少は、支払手形及び買掛金が18億98百万円、短期借入金が14億48百万円それぞれ減少したこと等が主な要因であります。固定負債の増加は、長期借入金が10億74百万円増加したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は162億73百万円となり、前事業年度末に比べ7億81百万円増加いたしました。

これは主に、四半期純利益の計上等により利益剰余金が7億64百万円増加したためであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は期首に比べ10億52百万円減少し45億91百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は1億14百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益12億73百万円、減価償却費15億80百万円、たな卸資産の減少額19億13百万円等の増加要因により資金が増加したのに対し、仕入債務の減少額18億98百万円、テナント等からの預り金の減少額16億2百万円、売上債権の増加額9億82百万円、利息の支払額4億1百万円等により資金が減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は5億64百万円となりました。これは主に、預り保証金の受入による収入3億57百万円、差入保証金の回収による収入2億55百万円等により資金が増加したのに対し、有形固定資産の取得による支出7億75百万円、預り保証金の返還による支出3億77百万円等により、資金が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は3億74百万円となりました。長期借入金の新規借入により68億25百万円資金が増加したのに対し、短期借入金の純減少により29億円、長期借入金の返済により42億99百万円それぞれ資金が減少したためであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2011年2月期の通期の業績予想につきましては、2010年4月14日に「2010年2月期 決算短信」において公表いたしました予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (2010年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2010年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,591	5,644
受取手形及び売掛金	3,529	2,547
商品	10,385	12,272
繰延税金資産	544	520
その他	3,328	3,604
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	22,376	24,586
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	32,038	31,419
構築物（純額）	1,918	1,778
工具、器具及び備品（純額）	3,169	3,168
土地	13,423	13,204
建設仮勘定	9	55
有形固定資産合計	50,559	49,626
無形固定資産		
その他	1,820	1,882
無形固定資産合計	1,820	1,882
投資その他の資産		
差入保証金	15,321	15,598
繰延税金資産	930	1,252
その他	7,732	7,981
貸倒引当金	△8,387	△8,465
投資その他の資産合計	15,596	16,366
固定資産合計	67,977	67,876
資産合計	90,353	92,462
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,398	16,297
短期借入金	18,549	19,998
未払法人税等	255	152
賞与引当金	517	424
役員業績報酬引当金	17	52
販売促進引当金	42	40
構造改革損失引当金	—	2
その他	9,114	9,752
流動負債合計	42,895	46,719

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (2010年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2010年2月28日)
固定負債		
長期借入金	20,798	19,723
役員退職引当金	5	17
長期預り保証金	10,005	10,040
その他	375	468
固定負債合計	31,184	30,250
負債合計	74,080	76,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,100	6,100
資本剰余金	13,354	13,354
利益剰余金	△1,529	△2,293
自己株式	△1,646	△1,654
株主資本合計	16,279	15,507
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12	△6
繰延ヘッジ損益	△13	△17
評価・換算差額等合計	△26	△24
新株予約権	20	8
純資産合計	16,273	15,491
負債純資産合計	90,353	92,462

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 2010年3月1日 至 2010年8月31日)
売上高	74,726
売上原価	55,432
売上総利益	19,294
営業収入	7,818
営業総利益	27,112
販売費及び一般管理費	25,447
営業利益	1,665
営業外収益	
受取利息	38
受取配当金	4
テナント退店解約金	29
その他	62
営業外収益合計	134
営業外費用	
支払利息	394
その他	80
営業外費用合計	475
経常利益	1,324
特別損失	
減損損失	3
固定資産除却損	46
特別損失合計	50
税引前四半期純利益	1,273
法人税、住民税及び事業税	206
法人税等調整額	298
法人税等合計	505
四半期純利益	768

(第2四半期会計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間 (自 2010年6月1日 至 2010年8月31日)
売上高	36,925
売上原価	27,491
売上総利益	9,433
営業収入	3,898
営業総利益	13,332
販売費及び一般管理費	12,667
営業利益	664
営業外収益	
受取利息	19
受取配当金	3
テナント退店解約金	7
その他	40
営業外収益合計	71
営業外費用	
支払利息	195
その他	16
営業外費用合計	212
経常利益	523
特別損失	
減損損失	3
固定資産除却損	45
特別損失合計	49
税引前四半期純利益	474
法人税、住民税及び事業税	160
法人税等調整額	△0
法人税等合計	159
四半期純利益	314

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期累計期間 (自 2010年3月1日 至 2010年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,273
減価償却費	1,580
減損損失	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	92
役員退職引当金の増減額 (△は減少)	△12
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	△34
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	2
構造改革損失引当金の増減額 (△は減少)	△2
受取利息及び受取配当金	△42
支払利息	394
固定資産除却損	46
売上債権の増減額 (△は増加)	△982
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,913
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,898
預り金の増減額 (△は減少)	△1,602
その他	△386
小計	354
利息及び配当金の受取額	28
利息の支払額	△401
法人税等の支払額	△96
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△775
無形固定資産の取得による支出	△22
差入保証金の差入による支出	△3
差入保証金の回収による収入	255
預り保証金の受入による収入	357
預り保証金の返還による支出	△377
その他	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△564
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,900
長期借入れによる収入	6,825
長期借入金の返済による支出	△4,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	△374
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,052
現金及び現金同等物の期首残高	5,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,591

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

(1) 前年同四半期に係る財務諸表等

① (要約) 四半期損益計算書

科目	前第2四半期累計期間 (自 2009年3月1日 至 2009年8月31日)	前第2四半期会計期間 (自 2009年6月1日 至 2009年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 売上高	75,639	36,411
II 売上原価	56,454	27,044
売上総利益	19,185	9,366
III 営業収入	7,793	3,826
営業総利益	26,978	13,193
IV 販売費及び一般管理費	26,922	13,183
営業利益	55	9
V 営業外収益	420	229
VI 営業外費用	538	238
経常利益又は経常損失 (△)	△62	0
VII 特別利益	—	—
VIII 特別損失	200	181
税引前四半期純損失 (△)	△262	△181
税金費用	△166	△241
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△96	60

② (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

2010年2月期第2四半期は連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期累計期間(自2009年3月1日至2009年8月31日)における(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書については記載しておりません。